

テーマ	学校数学における課題設計原理の開発に関する研究
発表者	小松孝太郎（筑波大学）、辻山洋介（千葉大学）、加藤幸太（千葉大学教育学部附属中学校）、中川裕之（大分大学）、宮川健（早稲田大学）、真野祐輔（広島大学）
趣旨及び概要	<p>我が国では、児童生徒の数学学習に対する教材の重要性から、教材研究が数学教育研究の一つとして古くから行われてきた。本研究では、教材の中でも数学の問題あるいは課題（task）に着目し、以下の二点から課題設計（task design）に関する研究を行う。第一は、個々の課題を設計することに加えて、そうした設計を裏付ける一般的な原理を開発することである。第二は、教材開発の研究方法論の一つとして、課題設計原理の開発に関する研究の枠組みを構築することである。今回の創成型課題研究では、推測、証明、フィードバック及びそれらの相互作用から成る協働型探究活動に焦点を当てた上で、次の研究課題に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none">・課題設計原理の開発に関する研究の枠組みとしてどのようなものが考えられるか。・図形の求答問題をもとにした数学的探究を実現するための課題設計原理とは何か。・証明のアイデアや方法の把握と適用を促すための課題設計原理とは何か。・課題設計原理の開発に関する研究にはどのような特徴があるか。